

近年の展覧会実績

慶應義塾では、各研究機関や専攻のコレクションと研究成果を塾内展示施設で公開するとともに、外部機関での展覧会協力・開催を行うなど、毎年さまざまな展示を実施しています。ここでは近年の開催事例の一部をご紹介します。

塾内展示施設での展覧会(2017年度抜粋)

スタンディング・ポイントⅠ「寺内曜子」

2017年5月15日[月]－6月30日[金] | アート・スペース

主催 | アート・センター

「清家展 ―清原家の学問―」

2017年5月29日[月]－6月24日[土] | 図書館展示室

主催 | 文学部国文学専攻

協力 | 慶應義塾図書館

「福澤諭吉・慶應義塾史 新収資料展

―歴史資料を通して見る慶應義塾の人と教育―

2017年7月3日[月]－8月5日[土] | 図書館展示室

共催 | 福澤研究センター

協力 | 慶應義塾図書館

KUAC Cinematheque 1:ビデオはおもちゃだ! VIC #1

2017年7月10日[月]－28日[金] | アート・スペース

主催 | アート・センター

『三色旗』表紙シリーズ企画

「明治浮世絵の世界―ボン浮世絵コレクションより―」

(同時開催:慶應義塾図書館貴重書展示会ダイジェスト)

2017年8月21日[月]－9月9日[土] | 図書館展示室

主催 | 三田メディアセンター展示委員会

「幼稚舎が三田にあった頃

―蔵書印・寄贈票から見る慶應義塾と幼稚舎の歴史―」

2017年9月19日[火]－11月4日[土] | 図書館展示室

共催 | 慶應義塾幼稚舎、慶應義塾図書館

慶應義塾大学文学部古文書展Ⅴ「国のうち・そと」

2017年10月10日[火]－11月2日[木] | アート・スペース

共催 | 文学部古文書室、アート・センター

塾外開催の展覧会(抜粋)

慶應義塾創立150年記念「未来をひらく 福澤諭吉展」

2009年1月10日[土]－3月8日[日] | 東京国立博物館

2009年5月2日[土]－6月14日[日] | 福岡市美術館

2009年8月4日[火]－9月6日[日] | 大阪市立美術館

慶應義塾創立150年記念 関連展示「慶應義塾をめぐる芸術家たち」

2009年6月20日[土]－9月23日[水] | 東京国立博物館

慶應義塾図書館貴重書展示会「丸善・丸の内本店ギャラリーにて毎年開催」

「古文書コレクションの源流探検―反町十郎、反町茂雄、木島誠三、木島櫻谷、そして…」2017年10月4日[水]－10月10日[火]

「インクナブラの時代 慶應義塾の西洋初期印刷本コレクションとその広がり」2018年10月3日[水]－10月9日[火]

センチュリー文化財団寄託品展覧会「空海と密教の典籍」

2017年11月13日[月]－12月8日[金]

図書館展示室、アート・スペース

共催 | 斯道文庫、アート・センター、慶應義塾図書館

慶應義塾体育会創立125年記念 特別展

「近代日本と慶應スポーツ―体育の目的を忘るゝ勿れ―」

2017年11月28日[火]－12月13日[水]

東館8階ホール特設会場

共催 | 慶應義塾体育会、福澤研究センター

協力 | アート・センター

「信濃町往来 ―― 建築いま昔」

2017年12月9日[土]－2018年5月31日[木]

慶應義塾大学信濃町キャンパス 総合医科学研究棟エントランスおよびラウンジ

主催 | アート・センター

協力 | 信濃町メディアセンター、デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター

アート・アーカイヴ資料展XVI

「影どもの住む部屋―瀧口修造の書齋」

2018年1月22日[月]－3月16日[金] | アート・スペース

主催 | アート・センター

平成29年度慶應義塾大学所蔵民族学考古学資料展

「日吉と矢上の考古学―縄文土器から焼夷弾まで」

2018年1月12日[金]－2月8日[木] | 図書館展示室

主催 | 民族学考古学研究室

「ミニチュア・ブックの世界

―「いと小さきもの」と語り合う悦楽―」

井関利明コレクション(慶應義塾大学名誉教授)

2018年3月19日[月]－5月19日[土] | 図書館展示室

主催 | 三田メディアセンター展示委員会

慶應義塾内のコレクション情報や学内外の展示活動の情報を収集しています。ご存知の方はぜひ慶應義塾ミュージアム・commons(kemco-2@adst.keio.ac.jp)までお知らせください。

KeMCo Keio Museum Commons

Collections & Exhibitions

コレクションと展示

慶應義塾ミュージアム・commons
Keio Museum Commons [KeMCo]

慶應義塾ミュージアム・commons (KeMCo) は、慶應義塾の収蔵する美術品や、さまざまな文化財・学術資料を所管する研究機関を結びつける、展示施設をもった組織です。大学の諸研究・教育機関での間だけでなく、一貫教育校との連携を図り、収蔵品や学術資料活用をめぐる全熟的なハブとなる組織として構想されています。また、慶應義塾の学生・教員・職員が携わるミュージアム・commonsの活動を通して、塾員・国内外の研究者や教育機関・地域をつなぐ役割を果たしていきます。

